

授業概要

博物館における情報・メディアの意義と活用方法、情報発信について理解し、博物館の情報の提供や活用等に関する基礎的能力を養う。

また、先端技術に触れ、自らが利用することを通して、博物館の現場でそれがどのように展開され、かつ進歩・発展していくか、体験的に学んでいく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス メディアとしての博物館
第 2 回	博物館における情報とメディアの基礎
第 3 回	博物館における情報発信
第 4 回	博物館教育と情報・メディア
第 5 回	資料のドキュメンテーションとデータベース
第 6 回	資料のデジタル化とデジタルアーカイブ
第 7 回	博物館と知的財産
第 8 回	博物館におけるメディアリテラシー
第 9 回	ユニバーサル・ミュージアムと情報・メディア
第 10 回	博物館における情報・メディア活用例 ① 歴史民俗・考古系
第 11 回	博物館における情報・メディア活用例 ② 美術系
第 12 回	博物館における情報・メディア活用例 ③ 自然史・理工系
第 13 回	博物館における情報・メディア活用例 ④ 生物系
第 14 回	先端技術による文化財の活用
第 15 回	総括
第 16 回	筆記試験

到達目標

博物館における情報・メディアの基礎を理解し、デジタル技術の知識を身に付け活用できるようになる。

履修上の注意

遅刻・欠席をしない。授業時には積極的な発言を求める。

博物館概論の知識を身につけておくことが望ましい。

予習・復習

各自で実際にパソコン操作や携帯アプリで博物館における情報・メディア活用の取り組みを体験すること。

評価方法

学期末試験 80%、受講態度 20%。

テキスト

教科書は特に使用しない。授業内に参考文献をあげ、適宜資料を配布する。